

ひとりは15代当主・頼倫。和歌山県出身の就学困難者への奨学金の貸与や、和歌山市岩橋にある「岩橋千塚古墳群」の踏査などをを行う一方、史蹟名勝天然記念物保存法の制定に貢献するなど文化財保護運動を推進した。また南方熊楠との親交も深く、南方植物研究所の設立発起人に名を

紀州徳川家は、徳川御三家の中で江戸幕府における征夷大將軍を出した唯一の家である。藩祖は、家康の十男・頼宣。漆器の黒江塗やみかんの栽培を奨励し、紀州藩を大藩へと育てた優秀な政治家であった。また「父母状」と呼ばれる道徳的な規範を出し、親孝行の大切さや法律を守ることの大切さなどを説き、今に繋がる紀州人の精神性の基礎を築いた。

和歌山に伝わる 紀州徳川家の記憶

連ねている。

もう一人は頼倫の子で16代当主・頼貞。幼少時から音楽に興味を持ち、21歳でイギリスに留学。その後は私財を投じて貴重な音楽的資料を収集し、そのコレクションは「南葵音楽文庫」と呼ばれ、現代に伝わっている。

そして2016年。岩橋千塚古墳群において数年前に発見された多くの埴輪などが、国の重要文化財に指定された。また関東大震災や東京大空襲を免れた南葵音楽文庫が、所有者の移転などを経て和歌山にくるといふ。創設400周年を2年後に迎える紀州徳川家。歴代の藩主・当主の行ったその偉業や功績は、今後受け継ぎ語り継いでいかなければならない和歌山県の記憶でもある。



①②③岩橋千塚古墳群大日山35号墳出土の両面人物埴輪。側面に垂れ下がっている髪の毛は前後で共有されている。このように前後両面に顔の表現を持つ埴輪の出土は日本初。②少し険しい表情で、ほほに線刻で矢尻が描かれている。③どこことなく穏やかな表情を見せる。④鳥の埴輪は全国でも見られるが、まるで飛んでいるかのように翼を広げている埴輪の出土も日本初。これらを含む埴輪や須恵器など43点が、今年8月に国の重要文化財に指定された。岩橋千塚古墳群には、このような日本の歴史を知る手がかりがまだ残されているかもしれない。



和歌山県立紀伊風土記の丘
紀伊風土記の丘は、国の特別史跡である岩橋千塚古墳群の保全と公開を目的として1971年に開館した。園内は約65haの広さがあり、丘陵からそのふもとまで430基以上の古墳が点在。資料館には重要文化財の両面人物埴輪をはじめ、貴重な考古・民俗資料が展示されている。
住所／和歌山市岩橋1411
電話／073-471-6123
<http://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>

岩橋千塚古墳群

南葵音楽文庫

南葵音楽文庫は、紀州徳川家16代当主頼貞が私財を投じて設立した、音楽資料を中心とした貴重なコレクション。戦後しばらく行方がわからなくなったコレクションもあったが、1977年以後、公益財団法人読売日本交響楽団に帰属、保管されていた。そして今年になり、和歌山県に寄託されることが決定し、保管・展示されることとなり、現在その閲覧・展示などについて準備を進めている。
和歌山県文化学術課 電話／073-441-2050

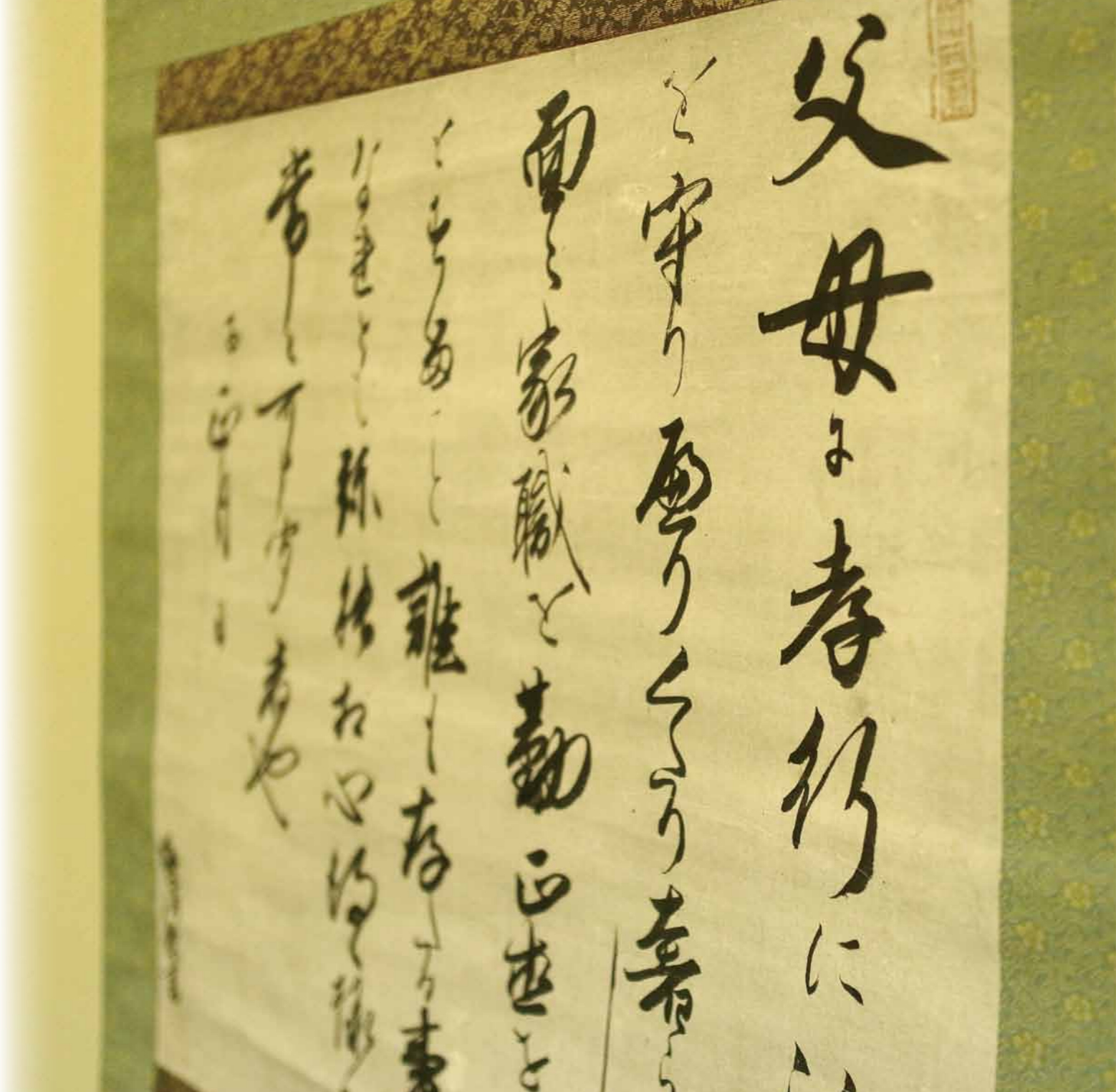


読響

読売日本交響楽団は1962年に、読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ放送の3社を母体として設立された、日本を代表するオーケストラのひとつ。東京のサントリーホールや東京芸術劇場をはじめ、大阪、福岡など各地で年間100回以上の演奏会を開いている。



F.ヴァインガルトナー<<日本の歌>>(Op.45)
ニューヨーク.1908 第1曲冒頭部分 ©読響



李梅溪直筆の父母状(和歌山市立博物館蔵)

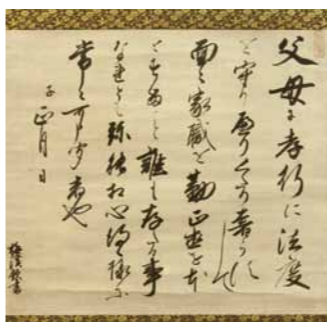
父母状

父母状とは、藩祖徳川頼宣が李梅溪(りばいけい)に命じ、領民教育として作らせた道徳的な教え。罪を犯しながらも反省をしない青年に、梅溪が人の道を説き、罪を悔い改めさせた人生訓から作られたという。その後、役人はことあるごとにこの父母状を民衆に読み聞かせ、また寺子屋では手習いの手本にされたといわれる。梅溪の父、李真栄(りしんえい)は朝鮮の儒学者で、豊臣秀吉の文祿の役で捕虜となり、後に頼宣に召し抱えられ、紀州藩の儒学者となる。梅溪は和歌山で生まれ、父と共に和歌山市の海善寺で育てられている。

雄湊(おのみなど)幼稚園

海善寺が運営している雄湊幼稚園では毎年、卒園を迎える園児が父母状の教えを習い、卒園式で朗読。今も「お父さんお母さんを大切にします。決められたことは守ります」など大きな声で誓っている。園内には、園児たちを見守るように父母状の碑が建っている。

住所／和歌山市道場町1-1
電話／073-431-0241



父母に孝行に法度を守りへりたり 誓らす
面々家職を勤 正直を本とするこ、誰も存たる事なれども 弥能相心得候様に常々可申聞者也。